



学校は今!

“きれいなフジの花”

4/9 1年生はじめての給食



風薫る5月となり、校庭の木々の緑も、日に日にその濃さを増してきました。休み時間の運動場には、心地よい風に吹かれながら、元気よく遊ぶ子どもたちの姿があります。

さて10連休も終わり、新学年が始まって約一か月が過ぎました。「今年はやるぞ!」「がんばるぞ!」という始業式の子どもの、キラキラ輝いたひとみがとても印象的でした。

私たち教職員は、この思いを大切にしなければならない、と改めて思います。



運動場の片すみを彩ってくれています。

このフジ棚は、地域のボランティアの方がお世話してくれているもので、大切に育てられています。地域の皆様のあたたかいご支援に心より感謝申し上げます。

運動場のフジ棚は、白いきれいな花で包まれています。毎年この時期になると、かわいい小さな白い花を咲かせてくれ、

4/15 屋上で方角の勉強をする3年生



昨年度の「学校をよくするためのアンケート」(児童対象)結果からは、学校としてのいくつかの課題がみえてきます。「学校に行くのが楽しいですか」の問いに対する肯定的な回答が、低学年では84%、中高学年では66%にとどまっています。高学年になるほど肯定的な回答が減少する傾向が見られます。

また、「困った時に先生に相談できますか」の問いに対する肯定的な回答が、高学年では64%にとどまっています。子どもの発達段階による捉え方のちがいもあるでしょうが、このアンケートの結果を学校は真摯に受け止めなければならないと捉えています。

子どもたちの、子どもらしい、いい表情や笑顔をたくさん生み出すことを、保護者の皆さんや地域の皆さんとともにすすめてまいりたいと考えます。どうぞ今後とも、率直なご意見とともに、本校の教育活動にご理解とご支援をいただけますようお願い申し上げます。

毎日が参観日です

津田小学校では、授業参観日以外の日でも、原則として、すべての教育活動を保護者の皆様に公開します。授業はもちろん、学校行事、始業式や終業式、離任式、児童朝礼、研究授業なども、公開いたします。お来しの際は、必ず保護者証をご持参いただき、職員室に声をかけていただきますようお願いいたします。



日	曜	5月行事予定
7	火	視力検査1年 家庭訪問(津田北1 17番地) 諸費振替4・5月
8	水	創立記念日※学校はお休みです
9	木	視力検査2年 家庭訪問(津田北2 17番地以外) PTA 実行委員会
10	金	視力検査3年 家庭訪問(堀住宅・エスパシオ)
13	月	視力検査4年 家庭訪問(津田南・パレス)
14	火	不審者対応避難訓練2限 視力検査5年 ウィズ開校式 ※教職員研修のため下校時間変更 1年 14:25 2~6年 15:15
15	水	視力検査6年 一斉下校
16	木	尿検査2次 内科健診全学年
17	金	遠足予備日 児童委員会
18	土	ひろっぱ総会 ハート交流館子どもまつり (5・6年参加予定)
21	火	心臓検診2次
23	木	眼科検診 ※1年全員2年以上は希望者
29	水	ひまわり号
30	木	4年社会見学学クリーンセンター
31	金	運動会準備

福祉委員会「ふれ愛のつどい」ひろっぱ津田



4/29 5年生

リコーダーのきれいな音色が体育館に響き渡りました。5年生のみなさんが、4年生の時にならった「ビリーブ」を歌い、「生命のいぶき」をリコーダーで演奏しました。会場の皆さんからは、子どもたちのがんばりに、あたたかい拍手がわき起こりました。



4/20

1年生を歓迎するためのソフトドッジボール大会が開かれました。1年生から6年生までの児童と保護者のみなさん、合わせて60名ほどが集まり、楽しくドッジボールを行いました。木々の緑があざやかな中で、とてもさわやかな時間を過ごすことができました。

《6月のおもな行事》

6/2 運動会 6/4 運動会予備日
6/3 運動会代休 6/18 授業参観、懇談会

たよれる6年生になりたい

5年生の初めのときは、教室はいつもうるさく授業に集中できませんでした。2学期になってから、だいぶ静かになったと思います。

4月から6年生になりました。下級生をリードできる人になりたいです。6年生は最高学年なので、下級生がたよれる6年生になろうと思いました。

今は中学生になった前の6年生が、給食委員の活動をしていてこまっていたときに

「いっしょにやろうか？」と声をかけてくれて、助けてもらいました。そのとき、6年生はとでもたよれるなあと思いました。前に私がそう思ったように、今の下級生たちにもそう思われる人になりたいです。

私はやさしくて、りっぱな6年生になりたいです。これから習う勉強も、そうじもがんばろうと思いました。

これは6年生の道幸香波さんが書いたもので、4月16日付、朝日新聞の投稿欄「声」に掲載された作文です。6年生としての自覚を持ち、前向きにこの一年を過ごそうとする強い思いが伝わってくる文章です。とりわけ、5年生の時に、クラスが落ち着かなかった状況をふり返りつつ、「やさしくて、りっぱな6年生になりたい。」という、最高学年としての意識をしっかりと持っていることを、たいへんうれしく思いますし、たのもしく感じます。

道幸さんにかぎらず、子どもたち一人ひとりが、自分なりの決意と目標を持って、新しい学年のスタートを切ってくれたことでしょう。私たちは、子どもたちの、この思いをたいせつにしたいと考えます。

子どもたちにとって「楽しい学校」とは、いったいどんな学校なのだろうかと考えることがあります。

学校へゆけば、工夫された、楽しく、よくわかる授業がある。友だち関係にも先生たちの十分な配慮があり、いじめられる心配がない。クラスの中で「自分が必要とされている」「いつも自分のことを気にかけてくれている」と感じる仲間や教師とのつながりがある。また将来のめざす自分に役立つことがある。

思いつくままですが、私なりのイメージを並べてみると、こんなふうになります。

昨年度、実施した学校アンケートの結果からもいくつかのことがわかります。「勉強がわかること」「クラスみんなの仲がよいこと」「学校行事が楽しいものであること」などが、子どもたちにとって、学校が楽しいと感じるポイントになっているようです。

改めて子どもたちの思いを大切に、学校づくりをすすめたいと考えます。子どもたちの、子どもらしい、いい表情をたくさん生み出していけるような学校をめざしてまいります。そして子どもたちが将来、自立するために必要な基礎的な力（人とつながる力、基礎学力、自分で考えて行動する力など）を培う教育を、6年間の積み上げを意識して進めていきたいと考えます。

しかしながら、子どもたちの育みは学校だけでできるものではありません。子どもたちの生活の基盤はあくまでも家庭であり、地域であることを考えると、保護者や地域の皆さまのご理解とご支援がなくては、学校教育は一步も前へ進むことができません。「家庭と地域、学校が信頼関係でつながり、それを基盤として子どもたちをたいせつに育てていく。」理想ですが、そんな姿を目標としています。

学校教育は「楽校共育」とも言われます。学校が子どもたちにとって楽しいことをたくさん創りだし、保護者や地域の皆さんのあたたかい愛情のシャワーを浴びながら、地域総ぐるみで子どもたちを大切に育てていきたいと思うのです。